

# 成功した モバイル／IoT 活用事例

2022  
年度版

持続可能な社会へ基盤となるモバイル  
5G/IoTが医療の革新&DXを牽引

## 来街者数の見える化で、自主財源確保を目指す

## DATA

導入活用目的	来街者数の見える化
テクノロジ	Webカメラ、AIによる解析 Wi-Fi(4G)、スマートフォン

## Profile

一般社団法人戸越銀座エリアマネジメント  
URL: <https://www.togoshiginza.or.jp/>



戸越銀座エリアマネジメント  
理事 遠藤利夫氏 東京システムハウス  
IoTサービス事業部  
課長 原口一孝氏

「時間帯ごとの混雑の様子はどうか」  
東京都品川区の戸越銀座商店街ではデジタルサイネージに時間帯別の来街者数実績が表示され、コロナ禍において、買物時間帯の判断をサポートしている。

カウント数はスマートフォンアプリを通じて商店街加盟店にも配信される。

### 人が集まりすぎる商店街 その実態をつかみたい

「食べ歩きの聖地」といわれる戸越銀座商店街は、3つの商店街からなり全長約1.3km。店舗数は約400件である。近隣住民に加え休日には観光地として広域から顧客が訪れる。

防犯カメラの映像を活用し、来街者のカウントをスタートしたのは2020年のことだった。

商店街の理事らが設立した一般社団法人戸越銀座エリアマネジメントでは、商店街が自主財源を確保し多彩な企画を展開するには、現状を数値的に把握することが欠かせないと考えていた。

きっかけは、地元のIT企業・東京システムハウスが幹事を務めるIT企業の勉強会「KT-NET」に商店街を招き、地域課題をヒヤリングしたことだった。同社がITによる解決策を提案し、プロジェクトがスタートした。

東京システムハウスの原口一孝氏

は、「商店街組合員数が多く、情報を届けるだけでも時間がかかっていると聞き、商店街内の情報共有用のスマートフォンアプリを開発すること、防犯カメラの映像をAIで解析し人数をカウントするシステムを提案しました」と当時の様子を振り返る。

アプリには、TV等の取材情報や各種連絡が通知される。

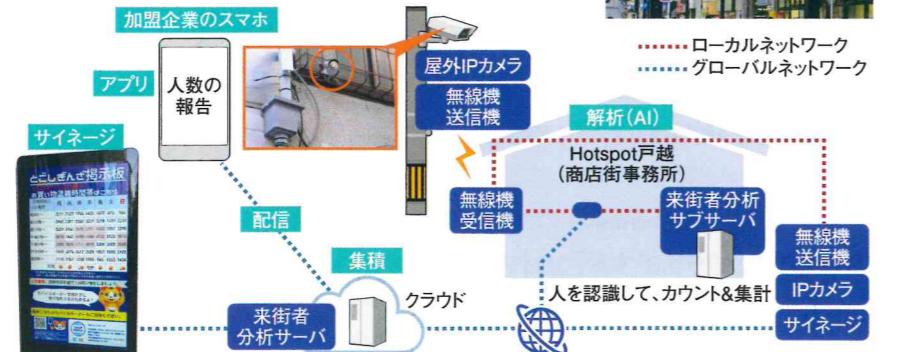
### 防犯カメラの映像を個人情報に配慮して解析

来街者数は、商店街2か所に設置されたカメラの映像を、Wi-Fiおよび4Gで収集し、個人を特定せずにAIでカウント。日ごとの数値を組合員のアプリに配信している。

同時に通りに設置したデジタルサイネージにも情報公開し、コロナ禍において顧客が気になる混雑状況を把握できるようにした。

戸越銀座エリアマネジメント 理事

図 戸越銀座における来街者カウントシステム



## アバターロボットと5G/LTEの利用で臨場感ある遠隔医学交流

## DATA

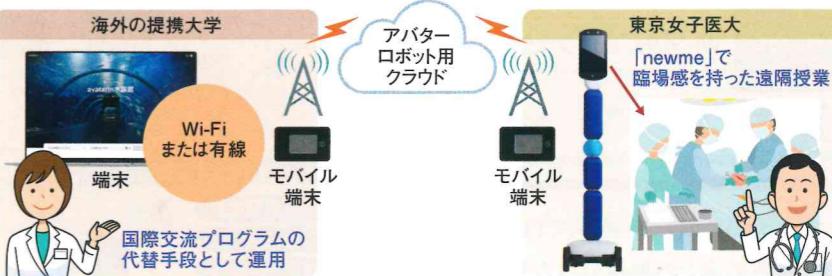
導入活用目的	医学、遠隔教育
テクノロジ	アバター、5G

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所  
研究・教育機関  
[www.twmu.ac.jp/univ/](http://www.twmu.ac.jp/univ/)

コナウイルスの影響で対面で交流が困難になったが、停滞させることはできない。東京女子医科大学先端生命医科学研究所では、例年行っていた海外の提携大学の学生が、PCで遠隔から学習を実施する実習等を実施する。映像をリアルタイムで視聴し、双方向の対話で臨場感を高めた。受講者はアバターロボット「newme」(アバターイド)を操作し主体的に様々な角度・距離から実習対象を観察することが可能となった。

図 アバターロボットによる医師向け遠隔教育サービス

東京女子医科大学で実施される実習等を海外の提携大学の学生が、PCで遠隔から臨場感をもって学習



離から実習対象を観察することが可能となった。

通信手段にNTTドコモの5G/LTEを利用することで、キャンパス内のどこでも映像で授業が可能となった。今後は学内の医師教育での本格活用も期待される。

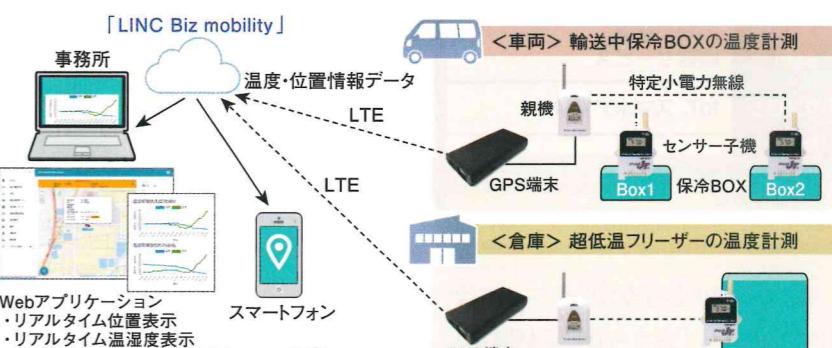
## リアルタイムの温度・位置管理で、ワクチンを安全輸送

## DATA

導入活用目的	医薬品の運送 温度管理対応運送
テクノロジ	センサ、GPS、IoTソリューション

五條メディカル株式会社  
事業内容: 医薬品卸売販売、倉庫・運輸業  
URL: <https://gojyo-med.co.jp/>

図 五條メディカルの先端医療対応型モビリティ温度管理システム



2021年にスタートした新型コロナウイルスワクチン接種。ワクチンの輸送には慎重な温度管理が求められる。

医療・医薬特化型の物流会社、五條メディカルでは、自治体の新型コロナウイルスワクチンの輸送を受託。

「LINC Biz mobility 温湿度管理」ソリューション(AIoTクラウド社)を

導入し、輸送中貨物の位置情報とともに温湿度の測定・管理を実現、信頼できるワクチン輸送を実施した。

輸送中に保冷BOXを開けることなくリアルタイムに遠隔から温度の監視を実施。設定した温度範囲を逸脱す

ると、アラートメールが発信される。

また、ワクチンの副作用など何か問題が発生し、後日輸送・保管の温度データの提出を求められた際に、データを取り出し提出できるなど、目標としたサービスレベルを実現できた。